

- 三菱自動車、「ミニキャブ」「タウンボックス」「タウンボックスワイド」・日産OEM「クリッパー」「クリッパーリオ」について、オーバーヒートが発生する恐れがあるとしてリコール
08年12月14日～13年12月27日に生産した45万6603台
エンジン冷却系のラジエーターチャンバー（冷却水内の気泡を分離するための装置）の強度が不足している為、積載状態で高速度・高回転運転や登坂運転の直後に、エンジン停止を繰り返す走行を継続して行った場合、亀裂が発生し、冷却水が漏れることがある。その為、そのまま走行を続けると、オーバーヒートが発生し、最悪の場合、エンジンが停止し再始動不可となる恐れがある。なお、今回のリコールは、2013年4月に開始したサービスキャンペーンについて、対象範囲を拡大のうえ、改めてリコールとして届け出たもの。
- BMWジャパン、「1シリーズ」等計28車種の燃料タンクに不具合があるとしてリコール
12年1月9日～16年5月25日に生産した5万0139台
燃料タンクの製造が不適切な為、タンク上部に取り付けられたカバープレートが正しく溶接されていないものがあるというもの。その為、走行振動などにより溶接部に亀裂が生じ、そのままの状態で使用を続けると、亀裂部位から燃料が漏れる恐れがある。同社は燃料タンクの不具合により、2018年3月29日付けで1万4957台をリコール。2019年6月14日付けで対象範囲を2万3746台に拡大したが、さらに対象範囲の拡大が必要だったことが判明したため、追加でリコールを届け出た。
- グループPSAジャパン、プジョー「5008」等計7車種のエンジンコントロールユニット（ECU）に不具合があるとしてリコール
ECUの制御プログラムが不適切な為、長時間市中走行した後、急激な加速をした際、尿素SCRシステムが正常に作動していないと誤診断し、警告灯が点灯する恐れがある。
18年7月13日～19年9月25日に輸入した1085台